

観察会報告
ギフチョウの観察会
横山謙二



ギフチョウを探しながら歩く

2025年3月29日に、浜松市天竜区の枯山にて、カタクリとギフチョウの観察会を行い、9名の参加がありました。この観察会は、2023年・2024年にも実施が予定されていましたが、雨天のため中止となったため、3年ぶりのリベンジとなります。

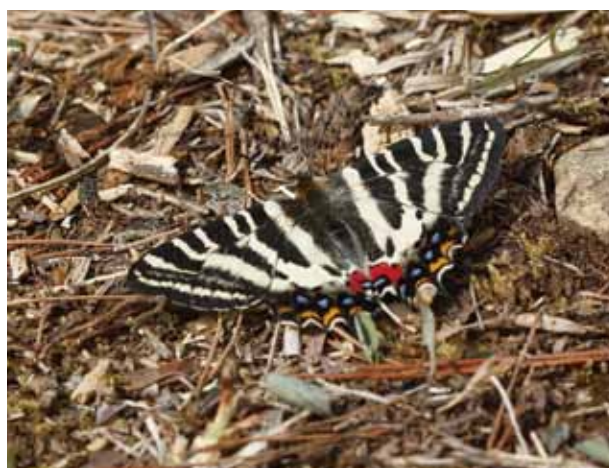
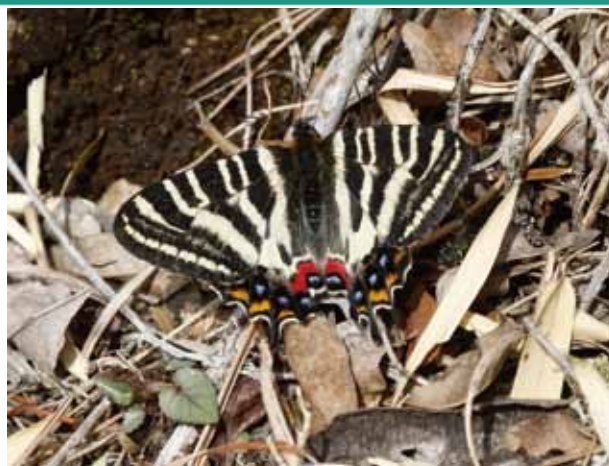
しかし、当日は、曇りで、さらに3月末と思えないぐらい、肌寒い日でした。集合場所の道の駅「くんまの里」に集まった参加者からも、ギフチョウが見れるのかどうか心配の声が上がっていました。

くんまの里から枯山の登り口に到着後、遊歩道沿いをゆっくりと山頂方向に登りながら、ギフチョウを探しました。

現地でも、曇りで、寒く、時間がたっても状況が変わりません。また、いつもこのころに、必ず見れたカタクリの花も咲いていません。そろそろスミレの花がちらほらと咲いている程度でした。

ゆっくりと進みながら、時間が経過しても、日がささず、山頂近くの気温計では、わずか6℃という寒さで、ギフチョウおろか、他の虫すら動く気配がありません。今年も春の女神に見離されたと思いはじめていました。

そしてついに、晴れるきざしもないまま、コースを一周し、お昼になってしまいました。



ようやく見ることのできたギフチョウ

昼食をとり、参加者の中には、すっかりあきらめムードが漂い始めた中、「もう30分ほどたてば、晴れるはずだ」と参加者の三宅さんが言い、30分ほどまた、ギフチョウを探すこととなりました。

30分程経過し、少し空が明るくなり、ようやく日がさしはじめたころ、待ちに待ったギフチョウが舞う姿を目にすることができ、地面やスミレの花に吸蜜する様子を見られ、5頭ほどのギフチョウを確認できました。

こうして、観察会終了近くのわずかな時間でしたが、久々にギフチョウの姿を見ることができ、無事観察会を終えることができました。